



池田緑展

# FOUR WORD STORIES

「四つの言葉」の物語

2010～2014 池田緑ワークショップ「四つの言葉」の物語をつくらうよ

## 北海道立釧路芸術館 |

2015年5月16日(土)～24日(日)

開館時間=9:30～17:00 \*最終日は16:00まで

休館日=月曜日(5月18日) フリーアートルーム(観覧無料)

主催=北海道立釧路芸術館

JR 釧路駅下車徒歩15分

釧路市幸町4-1-5 TEL: 0154-23-2381

## アートホール東洲館 |

2015年6月16日(火)～30日(火)

開館時間=10:00～18:00 \*最終日は16:00まで

休館日=月曜日(6月22日・29日) A室(観覧無料)

主催=アートホール東洲館

JR 深川駅下車徒歩1分

深川市1条9-19 TEL: 0164-26-0026

## ギャラリー門馬 ANNEX |

2015年7月12日(日)～20日(月)

開館時間=10:00～18:00 \*最終日は16:00まで

休館日=火曜日(7月14日)

地下鉄東西線円山公園駅から徒歩

ロープウェイ線(円10・円11)旭ヶ丘高校前下車

札幌市中央区旭ヶ丘2丁目3-38 TEL: 011-562-1055

## 帯広コンテンポラリーアート2015 マイナスアート展 |

2015年8月1日(土)～30日(日)

開館時間=10:00～18:00 \*最終日は16:00まで

会期中無休 旧ホテルみのや(観覧無料)

主催=帯広コンテンポラリーアート実行委員会

JR 帯広駅下車徒歩3分

帯広市西2条南10丁目20-3 info@tokachiart.jp

## 5年間に200人が紡いだ200ページの多様な『「四つの言葉」の物語』について

私は1999年から、自分が生まれてからの「年月日(数字)」をプラスチックテープ(商品名DYMO TAPE)にラベルライター(商品名DYMO)で打ち出す行を続けています。刻印された数字を客観的に俯瞰することで、もしくは身に起こった真実として受容することで、自分の存在を肯定しつつ生きる意味合いを探っています。

そうした流れの一環として、2010年から2014年にかけて、上記と同じ文具を用い、く思いや考えを「四つの言葉」で表現、その言葉をプラスチックテープに打ち込んで素材とし、物語の1ページを作成するという、「ことば」を用いたワークショップを展開してきました。

あなたの心の中にある「言葉」から、たいせつに思う「言葉」を四語、取り出しましょう。  
取り出した「四つの言葉」を、願いや思いを込めながらプラスチックテープに打ち出しましょう。

ここに、2冊の手のひらサイズの手帳があります。ニューヨークの文具店で購入しました。  
茶の皮表紙で、ネパール紙を粗くとじた縦じ本風の手帳です。1冊100ページです。  
生命が吹き込まれた「四つの言葉」を、どちらかの手帳の「あなたの1ページ」に貼ります。

そうして、みんなで力を合わせて、「四つの言葉」の本をつくりましょう。  
いろいろな人の、いろいろな「四つの言葉」が集まったなら、  
どんな内容の『「四つの言葉」の物語』が紡ぎ出されることでしょう。

このワークショップは、原則として私の個展開催期間中に限定して行ったことから、2冊の手帳=200ページを作成し終えるまでに、5年もの長い年月がかりました。このほどようやく完成をみるに至りましたので、ご協力いただいた200人の方々への心よりの謝意とともに、5年間に200人が紡いだ200ページの多様な『「四つの言葉」の物語』を、ここに記録本や映像などとともに紹介いたします。

池田 緑

ワークショップ「四つの言葉」の物語をつくる



長谷光博 蓮友妃子 熊谷陽子 渡辺絹子 本間真理  
 大矢将人 岡崎和子 齊藤 周 長内留美 柿崎敦子  
 柿崎 照 渡邊 希 田澤博幸 山本雄基 楠 爽  
 杉本悠都 浅川若葉 蜂須賀咲来 齊藤潤一 東山清香  
 荻山夏文 宗原 均 田嶋奏子 河上 實 志賀 啓  
 千葉将壽 鈴木麗一 小出静佳 熊澤桂子 松本英樹  
 鎌田由希 鈴鹿準人 石川理美 黒島季菜 高橋 恵  
 土田麻利奈 林しおり 鈴木蘭香 花谷かおり 中村和乃  
 阿部舞菜 前田あすか 上田 京 一ノ関清美 森 陽平  
 小西七海 阿部麻未 田中千秋 市品兼示 阿村一輝  
 大竹 正 堀川世津子 澁木弘志 井上雅子 中江孝子  
 福地大輔 二木智司 向井和子 関 隆二 渡部徳史  
 新畑結香 横平 弘 澤田愛美 造谷準一 西川 高  
 今野量介 武内真利 谷口智哉 寺嶋弘道 小谷内恵美  
 川村真奈美 辺見 智 羽生節子 松長豊美 渡邊靖子  
 角田美友 島山節子 島山 悟 岩崎量示 梅田正則  
 植井丹彌 佐藤史恵 佐藤寿枝 影山宏明 村上知亜紗  
 吉野隆幸 猪股信子 上野郁子 大沼秀行 三上右近  
 石畑由紀子 松井由孝 勝野好則 福本真由美 今村信隆  
 越坂真美 塩田 晃 荒井善則 長南優香子 佐藤美晴  
 藤池恵美子 三木田麻莉 三木田好恵 東本 恵 菅 訓章

太田行子 坂井蔵人 坂井紀子 岩崎八重子 疋田壽子  
 竹之内勉 西山政子 桔梗智恵美 斉藤百合子 古川 瞳  
 林 佑磨 尾崎真理 渡辺真之 渡辺通子 中小原一帆  
 中小原治子 関口恵美 田村香樹 眞鍋幸恵 菊地穂子  
 木幡賢太郎 由良真一 由良久子 鈴木 陸 市島美咲  
 日野道子 伊達美智 杉浦 博 足立英行 須田久枝  
 上田真理 江波戸剛 朝倉義廣 大塚ひろみ 丸山 正男  
 新柴敬子 佐々木裕二 岩沢美香 樋口聖哉 中田悦子  
 田中智賢子 戸張良彦 西川裕紀子 鎌田曉子 高坂光尚  
 渡邊未知翔 山本正広 金巻悦子 松本道子 日浅尚子  
 茶畑美智子 寄木奈緒子 今田朋美 加納 修 野澤美保  
 佐藤 覚 今西 直人 金澤和彦 阿部慶子 中岡奈津美  
 中尾伊早子 高橋 光彦 堀田久美子 宮永浩室 高田 佳子  
 クロリー・キャサリン 佐々木圭男 森 幸佑 佐藤止隆 谷山真代  
 助川かおる 藤原乃里子 佐藤美和子 鎌田 朝緒 久保綾乃  
 荒井千恵子 駒澤 佑輔 山久保隆史 森 弘志 川端 純子  
 福井芳子 山本綾美 久門広美 伊藤建夫 打田武昭  
 千奈欣子 井上萌子 菊地タミ 小野寺寿宏・喜美江 金巻奈穂美  
 釜沢恵子 萩野明宏 関口さつき 関口 聡 関口一太  
 参加者200名 2010.5.22・2014.11.15 制作順敬啓

展示用アクリルケース：募言箱（池田緑の造語）について

おひとりおひとりの「四つの言葉」を、2011年3月11日に起きた東日本大震災の直後に日本国中に置かれた小さな募金箱(\*)に入れてみました。  
 この募金箱ならぬ募言箱に入れられた「四つの言葉」が、琴線に触れるメッセージとして多くの方々に届けられることを願って一。  
 (\*）東日本大震災に対応するため、募金箱として東急ハンズ向けに限定1,000個が製造、販売された。2012年1月、製造元より残108個を購入。さらに、2014年11月に、同仕様の募金箱100個を同製造元に特注。  
 サイズ:17×15×8.5cm

池田 緑(現代美術家)

1943年、朝鮮の咸興に生まれる。終戦後は、秋田・札幌・釧路で育つ。北海道教育大学卒業後、帯広に在住。  
 80年代から独立展や全道展に油彩画を出品。90年代半ばから現代アート分野に踏み込み、マスクを用いた「マスク・プロジェクト」を広く展開する一方で、アクリルパイプや文具のプラスチックテープなど斬新な素材を用いて時間の連なりを映し出すインスタレーション作品を発表。写真の技術に応用した版画作品、アートパフォーマンスの記録映像なども手がける。近年は、自分や人々の言葉の集積の造形化に取り組んでいる。